

# 教職支援室便り

7 月 号  
平成26年7月11日(金)

文責：教職支援室 山本 寛 幸  
☎ 0985-20-4808

## 教員採用第一次選考試験始まる！

6月29日(日)、北海道を皮切りに教員採用第一次選考試験が始まりました。教職課程を履修し、卒業時に教員免許状が取得(取得見込み可)できれば、最後の難関は教員採用選考試験に合格することです。今回は、第一次選考試験の内容を紹介します。

### 第一次選考試験の内容

ほとんどの自治体が筆記試験として教科専門と一般・教職教養の2科目を実施しています。いくつかの自治体で、集団面接や集団討論の面接試験を実施しています。

#### 1 筆記試験

##### 1) 教科専門

教員には、指導する教科の専門家であることが求められます。専門性に裏打ちされた指導が求められているので、自治体は必ず教科専門を実施しています。専門教科、専門試験、専門教養と表記している所もあります。

##### 2) 一般・教職教養

教職教養のみ実施の自治体は、宮崎県、熊本県・市(●)、大阪市(●)と東京都くらいで、ほとんどの自治体が教職教養と一般教養を課しています。教職教養の試験内容は、学習指導要領、教育法規、人権教育、教育原理、教育時事/答申・通知文、自治体の教育施策(※)等から幅広く出題されます。特に学習指導要領は教職教養の問題の中で占める割合が大きいです。一般教養の試験内容は、主要五教科(国語、社会、数学、理科、英語)問題が中心です。

- ・(●)：今年度から一般教養を廃止した自治体です。
- ・(※)：今年度、自治体の教育施策として出題が予想されるのは、「〇〇県いじめ防止基本方針」「第二次〇〇県教育振興基本計画(第二次〇〇県教育ビジョン)」です。

##### 3) 教科専門と教職・一般教養の配点

教科専門と教職教養・一般教養の配点は、自治体でまちまちです。ほとんどの自治体が専門教科の配点が高く、教職・一般教養が低い傾向にあります。ですから、専門教科でそれなりの点数がとれないと、第一次合格は難しくなります。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・宮崎県：専門(110点)、リスニング(50点)、教職教養(90点)</li><li>・長崎県：専門教科(200点)、教職・一般教養(100点)</li></ul> |
|--|

#### 2 面接試験

##### 1) 集団面接

第一次選考試験で集団面接を実施する自治体は、福島県、千葉県、富山県、岐阜県、愛知県、大阪府の数県です。集団面接は、5~10名の受験者を面接員3~4名が一括して面接するものです。集団面接も個人面接と同様に、面接員の質問に対する応答内容、態度、言語などから受験者の人物を評価することを目的とすることにおいては変わりません。

実施方法は、同一の質問を受験者全員に投げかけ、並んでいる順や指名順に一人ずつ答えを求める場合が多いようです。また、挙手によって答えを求める場合もあります。

受験者は、面接員の質問を的確に捉え、他の受験者の回答に影響されることなく、自分なりの答えを明快に伝えることが必要です。

- 集団面接はどのような観点で評価されるのか。(実施要項から)

《千葉県》

評価項目	観 点
人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るく、活力があり、誠実さがあるか。</li> <li>・ 自らの課題を認識し、前向きに努力しようとしているか。</li> <li>・ 協調性があり、素直に人の話を受け入れられるか。</li> </ul>
資質・情熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育に対して強い熱意を持っているか。</li> <li>・ 課題に対してよりよい解決方法を見つけようとしているか。</li> <li>・ 教育公務員としての自覚や誇りをもっているか。</li> </ul>

2) 集団討論

第一次選考試験で集団討論を実施する自治体は、青森県、三重県、山口県、福岡県の数県です。集団討論は、5～10名の受験者の集団討論の様子を面察員3～4名が評価するものです。集団討論室に入ると、面接員から集団討論題が示されます。例えば、「心に響く生徒指導とはどのような指導だと思いますか。具体的な例を交えながら討論して下さい」と書かれた用紙が配付され、7分程度で自分の意見をまとめます。その後、1番から順に2分間の意見を発表後、面接員から自由に20分間討論するよう指示されます。討論後、10分間程度、面接員から質問があります。

● 集団討論はどのような観点で評価されるのか。(実施要項から)

《福岡県》

コミュニケーション能力、協調性、積極性、態度、表現力、教養等

## 平成25年実施の第一次選考試験(英語)の合格者数、倍率等

下の表は、平成25年実施の第一次選考試験の英語の合格者数、競争倍率等です。都道府県によって倍率は異なりますが、地方は依然として厳しい状況にあります。

県名	校種	受験者数	一次合格者数	一次倍率	二次合格者数	二次倍率	全体倍率
宮崎	中	106	10	10.6	6	1.7	17.7
	高	72	9	8.0	5	1.8	14.4
沖縄	中	225	34	6.6	26	1.3	8.7
	高	140	9	15.6	6	1.5	23.3
鹿児島	中	153	39	3.9	20	2.0	7.7
	高	48	9	5.3	3	3.0	16.0
大分	中	89	32	2.8	(三次 20)		6.9
	高	55	13	4.2	(三次 4)		13.8
熊本	中	83	43	1.9	14	3.1	5.9
	高	72	31	2.3	10	3.1	7.2
長崎	中	46	14	3.3	6	2.3	7.7
	高	72	31	2.3	10	3.1	7.2
佐賀	中	62	20	3.1	14	1.4	4.4
	高	39	11	3.5	6	1.8	6.5
福岡	中	157	61	2.6	34	1.8	4.6
	高	163	41	4.0	26	1.6	6.3
福岡市	中	121	38	3.2	16	2.4	7.6
愛媛	中	68	12	5.7	8	1.5	8.5
	高	45	11	4.1	6	1.8	7.5
広島	中	225	46	4.9	34	1.4	6.6
	高	112	29	3.9	22	1.3	5.1
兵庫	中	273	92	3.0	46	2.0	5.9
	高	265	100	2.7	48	2.1	5.5
神奈川	中	241	109	2.2	51	2.1	4.7
	高	265	206	1.3	88	2.3	3.0
千葉	中高	555	250	2.2	141	1.8	3.9
東京都	中高	1,156	368	3.1	177	2.1	6.5

# 卒業生からのメッセージ

## 樋口勝政先生（平成18年3月卒）

突然のメール失礼いたします。私は樋口勝政と申します。約9年前に宮崎公立大学を卒業しました。現在は神戸市で教諭として勤務しております。「教職支援室便り」を見て、メールいたしました。

採用後、神戸市内の中学校で3年務め、現在は定時制高校で働いています。中学・高校ともに様々な子ども達が学びに来ています。現在は3年生を担当していますが17歳から65歳までと一緒に学んでいます。

そして私自身も日々子ども達たちから学ぶことが多いです。時には失敗することもありましたが……（本当に勉強させて頂きました）。

教育実習や採用試験など、この時期は忙しいと思いますが、しっかり勉強してほしいです。そして公立大で学んだことを生かしてほしいです。（教職科目だけでなく、共通科目も授業で使えるネタになります）。

つたない文で申し訳ないですが、遠くから公立大生の活躍を祈っています。

## 黒木哲史先生（平成25年3月卒）

山本先生、お久しぶりです！岡富中学校の黒木哲史です！ご無沙汰しております！

今年は1年2組の学級担任を務めさせて頂きました！去年は1年生のクラスの学級副担任をさせて頂いたので、色々な先生方のスタイルをまねしながら、生徒と学校生活を送っています！時には一緒に笑い、感動し、時には（ごくたまにですよ？）怒鳴り、生徒と正面から向き合っています。落ち着いた学級を持たせて頂き、驚きと感動の新鮮な毎日です！

父も日本に帰国し、富島中学校で勤務に励んでいます！

「感情的な、押さえつけるような怒鳴りつける指導いかん！」と指導法を変えようと奮闘していますが、なかなか難しいようです。富島中学校に公立大学から実習生が来ているらしいのですが、何かの縁ですね！公立大卒の先輩も富島中学校にいらっしゃいますし、県内の公立大出身の先生がどんどん増えていきますね！

今年は2年目で、去年のストックがあるので授業にもゆとりが出てきました！7月には高平先生の公開授業もありますので、是非参加したいと考えています！

なかなか宮崎まで平日に顔を出すことが難しいですが、今年も採用試験もありますし、できる限りでお手伝いしていきたいです！また宮崎に行く際には連絡します！先生もお体に気をつけて、お元気でお過ごしください！失礼します(^\_^)



## 現職教諭・臨時講師等の来訪者

現在、教諭、臨時講師等として学校現場で活躍されている本学卒業生が教職支援室を訪れ、近況報告や学校現場の状況等を話してくれます。本年度、6月末までに訪れた人を紹介します。

**4月**：山口枝里先生(H26.3卒)、加藤夕紀子先生(H21.3卒)、前田小幸先生(H26.3卒)、池松茉莉子先生(H26.3卒)、黒田絵梨先生(H19.3卒)、小玉直子先生(H10.3卒)

**5月**：宮崎卓也先生(H25.3卒)、堀内奈津紀先生(H15.3卒)、小玉直子先生、前田小幸先生、後藤愛子先生(H22.3卒)、山口枝里先生、加藤夕紀子先生、山元愛先生(H25.3卒)、川添久美子先生(H18.3卒)、野見山あゆみ先生(H21.3卒)

**6月**：山口枝里先生、加藤夕紀子先生、寺田美幸先生(H21.3卒)、小玉直子先生